



今月の特集

PCR検査 (plaque control record)

今月は歯科医院でのPCR検査についてお話したいと思います。

新型コロナウイルスの影響で、PCR検査という言葉は一気にメジャーになりました。

メジャーになったPCRは「ポリメラーゼ・チェーン・リアクション」のことですが、歯科医院で行う「**プラーク・コントロール・レコード**」についてお話しします。

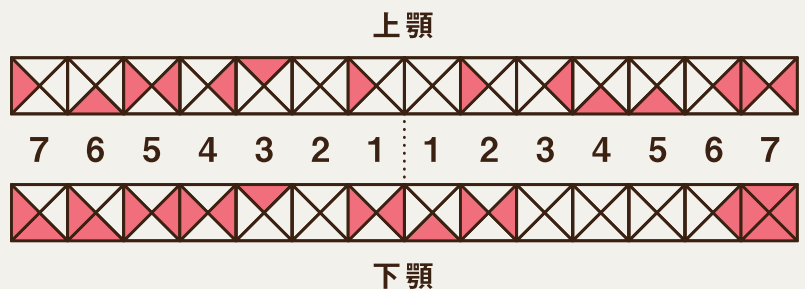
今はマイナーなPCRですが、歯科医としてメジャーにすることも我々の仕事の一環です。

今月も、ぜひお付き合いください。

検査の方法と評価

この検査は細菌のかたまりである歯垢(プラーク)を赤く色付け(染め出し作業と言います)し、着色した部位の割合を数値化したものです。赤く染まった部分は、磨き残しがあり細菌が付着していることを示します。

評価は、1本の歯を4つの面に分けて、歯の本数×4を100%とし、何%の歯面に歯垢が付着しているかを算定して評価します。



$$\text{PCR} = \frac{33}{28 \times 4} \times 100 = 29.5\%$$

染め出し後、うがいをしても赤く染まっている部分は歯垢が取れていないところです。

「赤く染まっていない部分を20%以下に!」

という目標を持って歯科衛生士は歯ブラシ指導を行っております。

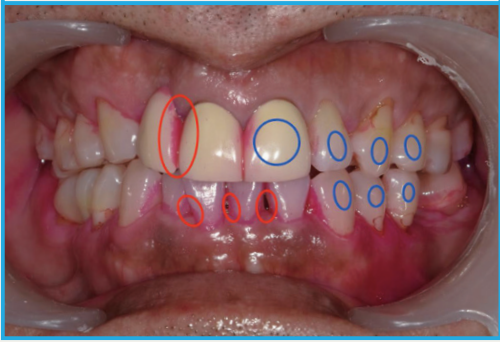
ご自身の数値はわかりますか?

ご不明な方は、ぜひ歯科衛生士に聞いてみてください!

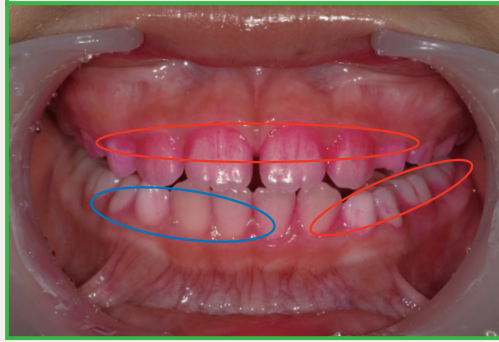
年に数名、0%という驚愕の数字を出す患者さんもいます! 歯磨き名人です!

歯磨き指導はオーダーメイド

Aさん



Bさん



赤○：磨き残し

青○：よく磨けている

この様に比較してみると、各々で磨けていたところにはっきりと特徴が出ます。

Aさんは歯の表面は磨けていますが、歯と歯の間に色が多く残っています。

一方でBさんは、右下(写真左下)歯と歯の間はよく磨けていますが、表面に磨き残しがあり、左下奥(写真右下)の歯と歯茎の境目(歯頸部)にも汚れが目立ちます。

歯磨きも十人十色。患者さん一人一人に合った指導をするのが、歯科衛生士の任務です。

歯磨きから健康になろう!

むし歯や歯周病は細菌による感染症ですが、丁寧な歯磨きにより口腔内細菌を減らすことができます。新型コロナウイルス問題についてはまだ分からないことが多いですが、全身の健康を保つために口腔清掃状態を良好に保つことは感染予防には重要です!

PCR、「目指せ20%! 極めろ0%!」です!

SPECIAL付録

このところ気候がよくなってきました。クリニック玄関前の植栽、ご覧になったことはございますか? 実は私が毎朝、手入れをしています! 褒めてください!! 最後の写真は趣味のマウンテンバイク。ただ登山するのではなく、マウンテンバイクを押して、ときには担いで登ります。登るのに2時間かかるものの、降りるのは10分くらいです。



\ P2 OPEN! /



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>